

編 集 後 記

先の衆議院選挙では、政治資金収支報告書不記載の問題等が原因で連立与党が過半数割れとなり、政権運営が前途多難になりそうとのことですが、国内外の諸問題が多々ある中で一刻も早く安定した運営ができるように、切に願っております。

「誌上ギャラリー」は、平田宗興先生より「日吉大社」と題した、紅葉の中に佇むユニークな鳥居の1枚が届きました。ありがとうございます。

「論説と話題」は、「令和6年度診療報酬改定（トリプル改定）について」として、急性期・回復期病院、有床・無床診療所の立場から、各先生方より改定のポイントが述べられております。ご参照ください。

「学術」では、志岐健三郎先生より「心不全加療中に出現した低ナトリウム血症に漢方治療が短期的に有効であった1症例」と題し、ご寄稿いただきました。心不全治療によるナトリウム利尿・摂食量の低下による低ナトリウム血症に対して、漢方薬に含まれる甘草の効果が、その作用として食欲の回復によるナトリウム摂取に寄与したとのことでした。甘草の入った漢方薬は日常診療にもよく使いますので、副作用にも注意しながら処方していきたいと思っております。大変勉強になりました。ご報告ありがとうございます。

田中謙太郎先生から「進化し続ける進行期非小細胞肺癌の薬物療法」と題してご投稿いただいております。貴重なご報告ありがとうございます。

「医師会病院だより」では馬見塚勝郎先生から緩和ケア科のご紹介として、病棟は31床中ほぼ毎月半数近くの患者様が入れ替わり、1ヶ月の入院総数は60名近い数字になるとのことです。疼痛コントロールや心理的ケアにも精通した看護師が多く所属し、病棟スタッフ一同、先生方の期待にこたえられるように、日々の笑顔を忘れない病棟作りを継続されていくそうですので、これからも紹介の

ほどよろしくお願いいたします。

「随筆・その他」では、「音楽の散歩道 — ベートーヴェンの「第9」200年記念 — ベートーヴェン、チェルニー、リスト」と題して、栗博志先生からご投稿いただきました。ありがとうございます。リレー随筆では、嘉川颯太先生より「AMAMI&GAMES」と題してご寄稿いただき、奄美での体験とGAMEへの愛情が綴られております。今回マンガースが根絶されたとのことで、アマミノクロウサギへの被害がなくなり、個人的には安堵しております。先生のこれからのご活躍を、心より願っております。ありがとうございます。

「区・支部だより」では、久保かおり先生から第2回紫南支部会の模様が届いております。ありがとうございます。

「各種部会だより」は中村俊博先生より鹿児島市内科医会9月例会、第2回鹿児島市在宅医会事例検討会のご報告です。どうぞ一読ください。

「各種報告」では理事会の概要、令和6年度救急医療週間行事を終えて、令和6年度鹿児島市医師会学校保健活動、令和6年度鹿児島市医師会健康教育活動等が報告されています。ご参照ください。

「鹿市医狂壇」は、「晩酌（だいやめ）」がテーマです。皆様も是非一読ください。

幕末の侍が時代劇撮影所へタイムスリップして、斬られ役になるという奇抜な物語で低予算の映画として作られ、単館上映から口コミが広がり上映館が318館まで増え、2017年にインディーズ映画として大ヒットした「カメラを止めるな」の再来と言われている、「侍タイムスリッパー」を観てきました。時代劇への愛あふれる笑いあり涙ありのチャンバラ活劇で、かなり楽しめました。ご興味あれば、ご鑑賞なされてはと思います。

(編集委員 角 純啓)